



平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月6日  
東

上場会社名 K L a b株式会社 上場取引所  
 コード番号 3656 URL http://www.klab.com/jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 真田 哲弥  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 高田 和幸 (TEL) 03-4500-9077  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第2四半期の連結業績 (平成27年1月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	10,435	8.9	1,551	122.9	1,612	130.3	665	22.9
26年12月期第2四半期	9,585	34.6	696	—	700	—	541	—

(注) 包括利益 27年12月期第2四半期 656百万円(20.2%) 26年12月期第2四半期 546百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第2四半期	18.35	17.93
26年12月期第2四半期	16.40	15.83

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第2四半期	13,186	9,883	74.6
26年12月期	12,731	9,075	70.8

(参考) 自己資本 27年12月期第2四半期 9,837百万円 26年12月期 9,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年12月期	—	0.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想 (平成27年1月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第3四半期(累計)	16,935	6.2	2,551	34.9	2,612	30.6	1,316	2.0	36.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期2Q	37,675,600株	26年12月期	37,291,500株
② 期末自己株式数	27年12月期2Q	1,165,200株	26年12月期	1,174,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期2Q	36,277,376株	26年12月期2Q	33,028,012株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結会計期間の売上高は4,797,344千円となり、前年同四半期比7.0%の減少、直前四半期比14.9%の減少となりました。これは主に「ラブライブ!スクールアイドルフェスティバル」の売上が減少したことによるものです。

費用面では、売上原価は3,141,714千円となり、前年同四半期比13.0%の減少、直前四半期比12.9%の減少となりました。これは主に売上減少に伴う使用料及び支払手数料が減少したことによるものです。

販売費及び一般管理費は1,123,399千円となり、前年同四半期比18.6%の増加、直前四半期比11.0%の増加となりました。これは主に「ラブライブ!スクールアイドルフェスティバル」の広告宣伝費及びプロトタイプ開発に関する試作費が増加したことによるものです。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高10,435,051千円(前年同四半期比8.9%増)、営業利益1,551,666千円(前年同四半期比122.9%増)、経常利益1,612,378千円(前年同四半期比130.3%増)、四半期純利益665,855千円(前年同四半期比22.9%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は13,186,717千円となり、前連結会計年度末に比べ、455,381千円の増加となりました。

流動資産合計は10,264,985千円となり、前連結会計年度末に比べ、250,994千円の減少となりました。これは主に、売掛金の減少によるものであります。

固定資産合計は2,921,731千円となり、前連結会計年度末に比べ、706,375千円の増加となりました。これは主に、無形固定資産の増加によるものであります。

## (負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は3,303,168千円となり、前連結会計年度末に比べ、352,294千円の減少となりました。

流動負債合計は3,256,427千円となり、前連結会計年度末に比べ、336,989千円の減少となりました。これは主に、未払金の減少によるものであります。

固定負債合計は46,741千円となり、前連結会計年度末に比べ、15,304千円の減少となりました。これは主に、長期借入金の減少によるものであります。

## (純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は9,883,549千円となり、前連結会計年度末に比べ、807,676千円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期第3四半期連結累計期間の業績見通し

当社グループの属するモバイルオンラインゲーム業界は、ヒット作の有無により業績が大きく変動いたします。現時点において、平成27年12月期（通期）の業績見通しを見積もることは困難であるため、平成27年12月期（通期）の業績見通しは開示いたしません。

なお、平成27年12月期第3四半期連結累計期間の業績見通しは以下のとおりとなっております。

平成27年12月期第3四半期連結累計期間（平成27年1月1日～平成27年9月30日）

売上高	16,935百万円
営業利益	2,551百万円
経常利益	2,612百万円
四半期純利益	1,316百万円

上記に記載した将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後の様々な不確定要素により変動する可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成25年12月25日)を第1四半期連結会計期間より適用しております。

なお、適用初年度の期首より前に締結された信託契約に係る会計処理については、同実務対応報告の方法によらず、従来採用していた方法を継続しております。そのため、四半期連結財務諸表への影響はありません。

### (3) 追加情報

#### (従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い)

当社は、当社の成長を支える従業員に対する福利厚生制度をより一層充実させるとともに、株価上昇へのインセンティブを付与することにより、当社の業績や株式価値に対する従業員の意識を更に高め、中長期的な企業価値の向上を図ることを目的として「従業員持株ESOP信託」を導入しております。

#### (1) 取引の概要

ESOP信託は、当社従業員持株会の「K L a b 従業員持株会」(以下「持株会」)が5年間にわたり取得すると見込まれる数の当社株式を一括取得し、毎月一定日に持株会へ売却を行います。

当社株式の取得、処分については、当社がESOP信託の債務を保証している関係上、経済的実態を重視した保守的な観点から、当社とESOP信託は一体であるとする会計処理を行っております。

従って、ESOP信託が所有する当社株式を含む資産及び負債並びに費用及び収益については四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書に含めて計上しております。

#### (2) 「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成25年12月25日)を適用しておりますが、従来採用していた方法により会計処理を行っております。

#### (3) 信託が保有する自社の株式に関する事項

##### ① 信託における帳簿価額

前連結会計年度123,909千円、当第2四半期連結会計期間119,993千円

##### ② 当該自社の株式を株主資本において自己株式として計上しているか否か

信託が保有する自社の株式は株主資本において自己株式として計上しております。

##### ③ 期末株式数及び期中平均株式数

期末株式数 前第2四半期連結会計期間284,800株、当第2四半期連結会計期間269,400株

期中平均株式数 前第2四半期連結累計期間290,136株、当第2四半期連結累計期間274,172株

##### ④ ③の株式数を1株当たり情報の算出上、控除する自己株式に含めているか否か

期末株式数及び期中平均株式数は、1株当たり情報の算出上、控除する自己株式に含めております。

#### (法人税率の変更等による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第9号)が平成27年3月31日に公布され、平成27年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げが行われることとなりました。

これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の35.64%から、平成28年1月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異等については33.10%に、平成29年1月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異等については32.34%となります。

なお、この税率変更による影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,249,978	7,272,185
売掛金	2,574,935	2,283,882
その他	691,526	776,708
貸倒引当金	△460	△67,791
流動資産合計	10,515,980	10,264,985
固定資産		
有形固定資産	215,843	210,695
無形固定資産		
のれん	56,726	44,689
その他	728,606	1,307,830
無形固定資産合計	785,332	1,352,520
投資その他の資産		
その他	1,220,132	1,364,469
貸倒引当金	△5,953	△5,953
投資その他の資産合計	1,214,179	1,358,515
固定資産合計	2,215,355	2,921,731
資産合計	12,731,335	13,186,717
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,255,495	1,137,586
賞与引当金	93,620	94,687
未払法人税等	567,306	849,366
その他	1,676,994	1,174,786
流動負債合計	3,593,416	3,256,427
固定負債		
長期借入金	60,000	45,000
その他	2,045	1,741
固定負債合計	62,045	46,741
負債合計	3,655,462	3,303,168
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,416,095	4,490,441
資本剰余金	4,111,851	4,186,196
利益剰余金	1,222,615	1,888,471
自己株式	△619,189	△615,273
株主資本合計	9,131,373	9,949,835
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△112,322	△112,309
その他の包括利益累計額合計	△112,322	△112,309
新株予約権	15,538	13,616
少数株主持分	41,283	32,406
純資産合計	9,075,873	9,883,549
負債純資産合計	12,731,335	13,186,717

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
売上高	9,585,648	10,435,051
売上原価	6,874,338	6,748,113
売上総利益	2,711,310	3,686,938
販売費及び一般管理費	2,015,141	2,135,271
営業利益	696,169	1,551,666
営業外収益		
業務受託料	21,233	6,158
受取利息	579	843
為替差益	—	70,265
事業構造改善費用戻入額	27,536	—
その他	2,672	9,294
営業外収益合計	52,021	86,562
営業外費用		
支払利息	5,488	387
持分法による投資損失	4,266	16,532
為替差損	36,167	—
その他	2,257	8,929
営業外費用合計	48,179	25,850
経常利益	700,010	1,612,378
特別利益		
抱合せ株式消滅差益	16,395	—
自己新株予約権消却益	2,344	39
特別利益合計	18,739	39
特別損失		
事務所閉鎖損失	12,869	—
減損損失	21,938	65,325
その他	1,749	1,534
特別損失合計	36,557	66,860
税金等調整前四半期純利益	682,192	1,545,558
法人税等	136,498	887,575
少数株主損益調整前四半期純利益	545,694	657,982
少数株主利益又は少数株主損失(△)	4,113	△7,873
四半期純利益	541,580	665,855



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	545,694	657,982
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	850	△990
四半期包括利益	546,545	656,991
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	542,614	665,868
少数株主に係る四半期包括利益	3,930	△8,876

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

当第2四半期連結累計期間において、ドイツ銀行ロンドン支店による新株予約権の権利行使等があり、資本金が826,435千円、資本準備金が826,435千円増加しました。この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が3,574,526千円、資本剰余金が3,270,281千円となっております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計 (注)
	ゲーム事業	その他事業	
売上高			
外部顧客への売上高	9,562,408	23,240	9,585,648
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	9,562,408	23,240	9,585,648
セグメント利益	2,707,063	4,246	2,711,310

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しているため、差異調整は行っていません。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結会計期間中に縮小が決定した事業所に対し、報告セグメントに含まれない全社資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は21,938千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計 (注)
	ゲーム事業	その他事業	
売上高			
外部顧客への売上高	10,412,405	22,645	10,435,051
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	10,412,405	22,645	10,435,051
セグメント利益	3,681,711	5,226	3,686,938

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しているため、差異調整は行っていません。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

## (重要な後発事象)

## 1. 自己株式の取得

当社は、平成27年5月18日開催の取締役会において、会社法第459条第1項第1号の規定による定款の定めに基づき、下記のとおり、自己株式を取得することを決議し、実施いたしました。

## (1) 自己株式の取得を行う理由

資本効率の向上及び経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行とともに、株主還元策として1株当たりの価値向上のため、自己株式の取得を行うものであります。

## (2) 取得に係る事項の内容

- ① 取得対象株式の種類  
当社普通株式
- ② 取得しうる株式の総数  
200,000株（上限）  
（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 0.5%）
- ③ 株式の取得価額の総額  
246,000千円（上限）
- ④ 取得の方法  
東京証券取引所における市場買付
- ⑤ 取得期間  
平成27年5月19日～平成27年7月31日

## (3) 自己株式の取得結果

- ① 取得した株式の総数  
90,000株
- ② 取得価額の総額  
128,543千円
- ③ 取得日  
平成27年7月9日

## 2. 新株予約権の行使による増資

平成25年7月17日開催の取締役会の決議に基づき、平成25年8月2日付で発行した第三者割当による第8回新株予約権について、平成27年7月13日において権利行使及び払込が完了しました。

その概要は次のとおりであります。

① 募集方法	第三者割当の方式による
② 発行する株式の種類及び数	普通株式 79,500株
③ 発行価額	1株当たり 1,272.7円
④ 資本組入額	1株当たり 626.35円
⑤ 発行価額の総額	101,179千円
⑥ 資本組入額の総額	50,589千円
⑦ 割当先	O a k キャピタル株式会社
⑧ 資金の使途	国内・海外におけるモバイルオンラインゲーム事業に係る広告・マーケティング活動及び新規タイトル開発費用へ充当する予定です。